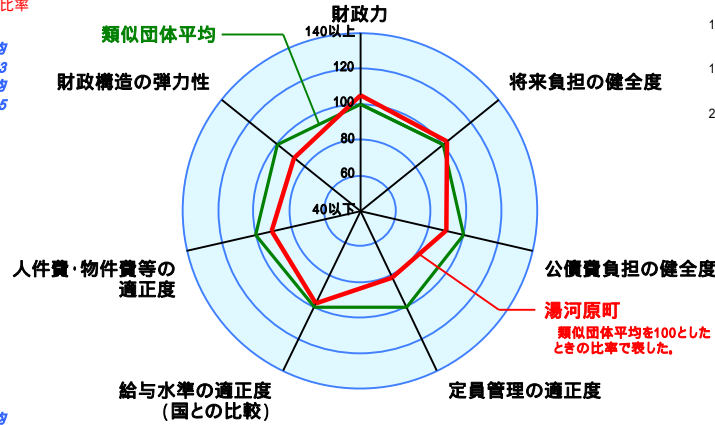
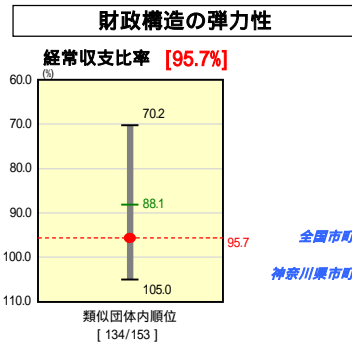
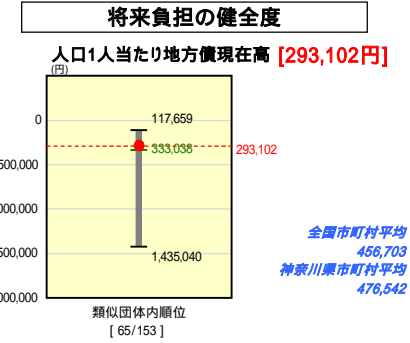
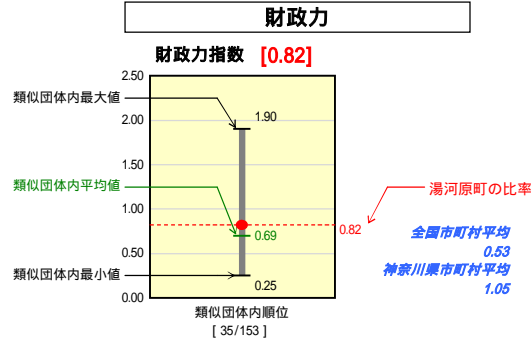


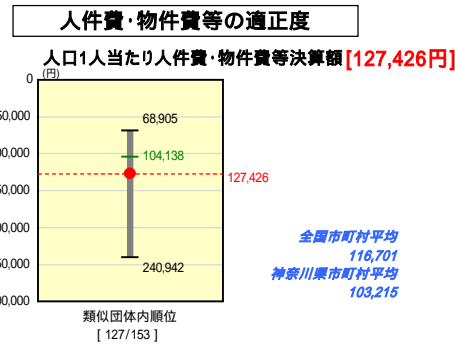
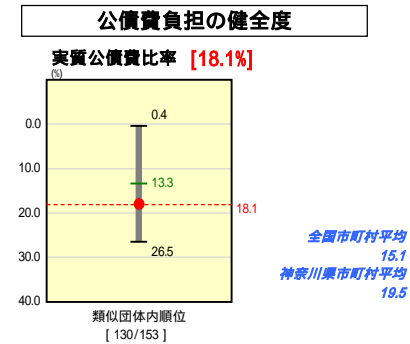
# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 神奈川県 湯河原町

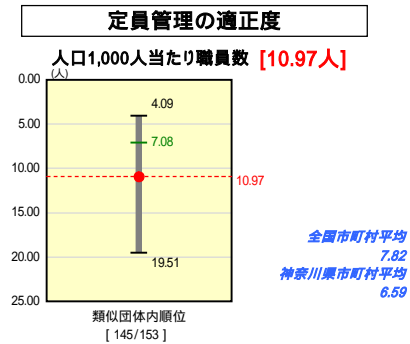
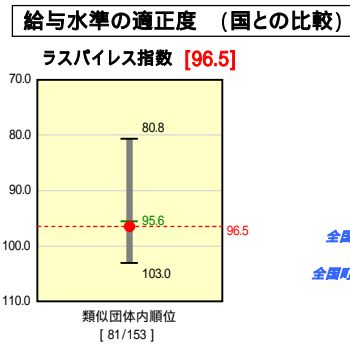
人口	27,807	人(H19.3.31現在)
面積	40.99	km <sup>2</sup>
歳入総額	8,216,389	千円
歳出総額	8,023,088	千円
実質収支	191,211	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



### 分析欄

〔財政力指数〕 類似団体平均を上回るが、町の主要産業である観光業が低迷しており、他に大きな産業がないことから、税収増がなかなか見込めない状況である。また、高齢化が進んでおり、人口も減少傾向となっている。「ゆがむら2001プラン」に沿って観光を軸とした地域経済や中心市街地の活性化に取り組み、活力あるまちづくりを展開するとともに、歳出の徹底した見直しにより行政の効率化を図り、財政基盤の強化に努める。

〔経常収支比率〕 歳出比較分析表を参照。

〔人口1人当たり人件費・物件費等決算額〕 類似団体平均を上回るが、主に真鶴町及び熱海市泉地区を管轄とする消防職員及び観光温泉地として観光事業を行う商工関係などの人件費が類似団体と比較して高い要因となっている。今後は、消防については広域消防の検討が行われており、その他の職員については、退職者不補充・臨時職員の活用・指定管理者制度を含めた民間委託の推進等により、一層の定員管理の適正化に努めている。

〔人口1人当たり地方債現在高〕 類似団体平均を下回っているものの、過去に発行した、道路、公園等の住民生活に密着した基礎整備のための地方債の償還費は、財政を大きく圧迫している。発行額については、少なくとも元金償還額を上回らないよう抑制し、地方債現在高が減少するよう努め、将来世代への負担を軽減する。

〔実質公債費比率〕 類似団体平均を上回るが、これは、国体開催に伴い整備した総合運動公園及び下水道処理場建設等の負担が大きいため、また、財政状況の健全化により、予算編成上、起債に頼らざるを得ない状況が続いていることによる。今後も学校をはじめとした耐震化事業等の必要不可欠な事業が予定されており、安全対策上やむを得ない事業に限定して地方債の発行を行う。

〔人口1,000人当たり職員数〕 本町では隣接する市町から受託している消防・救急業務の消防部門や町立保育園が5園ある福祉部門を有しており、これらの固有な特殊事情により類似団体平均を上回っている。このため、行政改革を積極的に推進し、平成8年度から定員適正化計画に基づき退職者不補充等の職員の定員管理に取組んだところ、平成19年度職員数は行政需要の観点から前年度と同数であったが、平成8年度職員数の14.0%減(57人減)という大幅な削減を達成した。また、第3次定員適正化計画の見直しを行い、平成19年度から平成23年度までに専門職を除く一般事務職等を10%削減することを目標に、一層の定員管理の適正化に努める。

〔ラスパイレス指数〕 給与構造改革の実施により、給与体系を見直し、給料表水準の引き下げを行うとともに地域手当の支給割合を5%に削減(削減前は9%)したことや各種手当を引き続き抑制したことで、類似団体の中ではほぼ平均的な水準にある。今後一層の給与の適正化に努める。